

ト終了時は混雑が予想されることから、国道56号に面した左折のみの出口を確保するなど、渋滞を緩和するよう計画している。

要望 駐車場は民家に接している部分もある。騒音などのトラブルも懸念されることから、近隣住民や地域の方々への配慮も考えながら整備を進めてもらいたい。

厚生文教委員会 委員長 村上 常雄

◆大洲市普通公園条例の一部改正について

説明 旧三善保育所及び旧白滝保育所の解体に伴い、これらの施設の跡地を普通公園とするため、条例の一部を改正しようとするもの。公園の名称はそれぞれ三善コミュニティ広場、白滝コミュニティ広場とし、地域交流の場として市が整備を行う。

問 大洲市内におけるその他の普通公園は何か所設置され、その管理はどのように行っているのか。

答 市の普通公園は現在29か所設置されており、設置場所によって市が管理しているものもあれば、地域が管理を行っているものもある。今回の2か所のコミュニティ広場については、市と地元自治会が維持管理について協定を結び、地域での管理をお願いすることとしている。

《令和6年度大洲市一般会計補正予算》

◆大洲市総合体育館改修工事に関する事業費について

説明 今年4月に発生した地震でアリーナの天井ボードが落下したことを受け、今後発生するおそれのある大規模地震に備えるために抜本的な天井落下防止対策を実施するもの。併せて令和7年9月に開催予定の日本スポーツマスターズ2025愛媛大会において、男子バスケットボールの競技会場となることを見据え、アリーナの照明器具のLED化、及びエントランスホール等の改修を行う。

問 本施設は災害時の避難所になっている。エアコンの設置は検討しなかったのか。

答 避難所としての暑さ対策の必要性については十分認識している。エアコン整備は多額の予算が必要になることから、危機管理部門と連携を図りながら検討を進めていきたい。

問 改修工事における休館期間はどれくらいを予定しているか。

答 11月の入札を予定しており、12月から来年3月まで、約4か月間の利用を中止することになる。

産業建設委員会 委員長 安川 哲生

◆河辺ふるさとの宿条例の一部改正について

説明 河辺ふるさとの宿の持続可能で効果的な運営の実現に向け、同施設の休館日の改正及び利用料金の限度額の改定を行うため、条例の一部を改正しようとするもの。

問 令和5年度の施設利用者数や、家族利用、個人利用といった利用者の構成を教えてください。

答 令和5年度は延べ886人の利用があり、構成は家族、夫婦、友人同士といった方々の利用が大半を占めている。

問 県外利用者の割合や、利用目的は。

答 利用者のうち県外利用者が8割ほどおり、豊かな自然を求めてお越しいただくケースが最も多い。

問 県外利用者が多いことを踏まえると、利用金額が増加することにより交通費も含め利用者の負担が大きくなり、利用率が減少するといったことも想定されるのでは。

答 運営事業者によると、夏休みのような需要が伸びる時期においてはある程度高い料金設定にするが、オフシーズンには低廉な料金設定にするといった弾力的な運用を考えていると聞いている。ほかにも、家族利用の場合は価格を割り引くといった対応も検討されている。

要望 利用料金の上限額だけ見ると、初めて利用される方が戸惑うかもしれないので、利用料金については弾力的な運用を行う旨を十分アピールするようにしてもらいたい。

◆大洲市農家生活体験屋及び土蔵条例の一部改正について

説明 交流館才谷屋及び坂本龍馬脱藩之日記念館の持続可能で効果的な運営の実現に向け、同施設の休館日の改正及び利用料金の限度額の改定を行うため、条例の一部を改正しようとするもの。

問 令和5年度の施設利用者数はどのくらいか。利用者の構成や県外利用者の割合も河辺ふるさとの宿と同程度の実績となっているのか。

答 令和5年度の延べ利用者数は403人であり、利